

ふるさとわがまちづくり

中金町自治区

◆「中金町」の概要

中金町は、市街地から国道153号線を車で北上、およそ、30分くらいのところにあります。集落は両側を山に囲まれ、力石川と国道153号線沿いに細長く伸びています。また、名鉄三河線の終着駅であった「西中金」のある所としても知られおり、駅舎とプラットホームが、国指定登録有形文化財にしてされました。

中金町には、1350年頃に児島高徳の築城になるという中金城がありました。この城は、広瀬に居城する高徳が、北の守りの月原城(足助町)、西の守りの伊保城、南の守りの梅坪城とともに東の守りとして、鷲見城と中金城を築城したといわれているものです。城ヶ根の地名が今もこの地に残っています。

◆交通の要所

この地区は古くから飯田街道の沿線にあり、昔から交通の便の良いところでした。飯田街道は、信州飯田から根羽を経て足助に入り、中金、枝下、四郷、伊保を通って名古屋に至る道路です。近世では、内陸部と海岸部を結ぶ主要な街道でした。この街道は、信州中馬、三洲馬が盛んに通る所から中馬街道とも呼ばれていました。中金から分かれて成合、寺谷下(寺下町)を経て、船着場のある古鼠(現扶桑町)に出る道も、この地方の大切な輸送路でした。



電車が中金まで開通したのは昭和2~3年のことでした。西中金から足助に至る間は、足助町追分まで、路盤はでき、今日でも残っていますが、ついに電車は通りませんでした。今では、その線路敷を通学路として使用しています。

国道153号線の整備、グリーンロード開通で、他県からの車も増え、交通量は増加しました。また、とよたおいでんバスも通り、山間の集落としては、交通の便は良いようです。

◆レジャーのまち

中金、山中、千鳥などの松林に中京ゴルフ倶楽部 石野コースでは、プロの大会も開催されています。南山の岩場もロッククライミング場として、よく知られており、岩場は高さ30数メートルの男岩、女岩の2つからなり、格好の練習場となっています。また、溪流と豊かな緑は、ハイキングコースともなっており、シーズンはハイカー達で賑わっています。今後、こうした環境をいかした、素晴らしい地区になるよう望んでいます。



◆岩倉神社の農村廻り舞台

初代の農村舞台は文化5年(1808年)に建設されました。床の中央部を十八尺(5.45m)にわたり切り抜き、廻り舞台にしていた様子を現在も伝えています。この舞台は、銅蓋(回転床)を回転させて、舞台背景を展開させながら役者を上下に移動できる極めて高度な舞台機構を備えたもので、市が指定する有形民族文化財に登録されています。



農村廻り舞台



廻り舞台の縁の下

中金町自治区データ (H20.4現在)

世帯数：82世帯
：84世帯(昭和52年)
組数：6組
面積：2,968K㎡
自治区たより：「なかがね」年4回
回覧：月2回
ふれあい広場：1箇所
防犯灯設置箇所：26箇所
小学校：中金町小学校区
自治区会館：中金町公民館